

「サンタさんへ の手紙」はがき 魅せ

優秀作品250点選び展示発表会



大勢の親子連れなどが参加して開講された「絵はがき」教室で自ら絵筆を手に取り歓声を上げる子どもたち

国内の子どもたちが投かん
延べ3万通超えたのを機に

夏でも「夢気分」満喫

既報「日本・フィンランドサンタクロース協会」が、フィンランドのサンタクロース中央郵便局との共同企画による「サンタさんからの手紙」事業は、開始から五年が経過した。

この手紙は毎年十二月にフィンランドから届くが、それに同封された返信がきん「ちりちり」から文筆と絵を描いて出すと、翌年夏にサマーレターが送られてきて、サンタさんとのやりとりが楽しめるという。

このうち、日本全国の子



子どもたちからの「サンタさんへの手紙」(はがき)が

延べ三万通を超えたので、優秀作品二百五十点を選んだ展示発表会が、八月九日から同十三日まで、通信総合博物館で開かれた。

フィンランドとの共同企画

開始から5年経過

主催は日本・フィンランドを著して記念撮影を行うなど、サンタクロース協会、後援はフィンランド郵政、サンタクロース中央郵便局、日本郵政公社。同館一階の特別展示室には、夏休みとあって、大勢の親子連れが訪れ、「サンタさんは何人いるのですか」「日本語でお手紙をください」と奇抜な文句が混じる作品に見入って笑い声を立てたり、フィンランド製のサンタ風外壺

会場ではフィンランド製のサンタ風外壺に身を包み記念撮影する子どもたちも

を著して記念撮影を行うなど、大盛況。また「絵はがき教室」に参加し絵筆を執ったりして、大きな歓声を上げながら同教室を楽しんだ。

同展では、フィンランドのクリスマス切手や、町田たつひこ「オリジナル」絵はがき「原画も合わせて展示された。